

ヤマモモ

【区画②④(159)】

学名	<i>Morella rubra</i> Lour.	分類	ヤマモモ科ヤマモモ属
分布	関東地方南部～沖縄	樹高	5～15m程度の常緑高木

〈特徴等〉

名前の由来	・名は、「山に生える桃」の意味。		
葉の特徴	① 常緑・落葉	② 広葉・針葉	
	③ 対生・互生	④ 単葉・複葉	⑤ 鋸歯縁・全縁
開花等	・4月頃、葉の付け根に花を開く。花は赤色で、細い円筒状に密集している。		
結実等	・初めは緑色、夏に熟すと暗紅紫色(暗い赤紫色)となる。		
その他	・低い鋸歯がまばらに出ることも多い。 ・果実は美味。		

〈写真〉

		
樹木 (4/3)	樹皮 (5/12)	葉の付き方 (4/3)
		
葉 (6/12)	花 (/)	果実(実) (/)

〈参考文献〉 牧野富太郎(2017)『新分類 牧野日本植物図鑑』北隆館, p.676.
林 将之(2018)『葉で見わかる樹木 増補改訂版』小学館, p.115.